

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	東京オリンピック・パラリンピック対策に係る新たな警備手法に関する調査研究			担当部局庁	警備局		作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	警備課		警備課長 近藤 知尚		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会(以下「東京大会」という。)に向けて警察として効率的かつ効果的な準備を進めるため、海外における大規模なスポーツイベントにおける警備手法について調査研究を行い、同大会の安全かつ円滑な開催に万全を期す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東京大会は、各国の首脳を始めとして、国内外から多数の人の来訪が予想され、テロ等各種脅威の標的とされることが懸念される。また、同大会は、首都東京の湾岸部を中心に、競技会場や宿泊施設の大半が配置される計画となっており、障害のある方も含め、世界各国からの訪問者が自然な環境の中で、安全に安心して世界最大のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックの感動、雰囲気を実感できるような計画とするためには、湾岸部や首都圏の中心というロケーションを勘案した警戒の在り方、公共交通機関での安全確保の在り方、ボランティアの採用及び管理の在り方等も含めて検討を進めていく必要がある。このため、2012年ロンドン大会等における警備手法をまとめた報告書の作成に向け、調査研究を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	8	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	8	0	0		
	執行額	-	-	2	-	-			
	執行率(%)	-	-	25%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 27 年度	
	新たな警備手法に関する調査報告書の作成	報告書の件数	成果実績	件	-	-	-	-	1
			目標値	件	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-	100
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	作成した報告書の件数	活動実績	件	-	-	1	-		
		当初見込み	件	-	-	2	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	執行額/海外の大規模スポーツイベント調査件数	単位当たりコスト	千円	-	-	2,128	-		
		計算式	執行額/調査件数		-	-	2,128/1	-	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
		-	-	事業の終了					
	計	0	0						

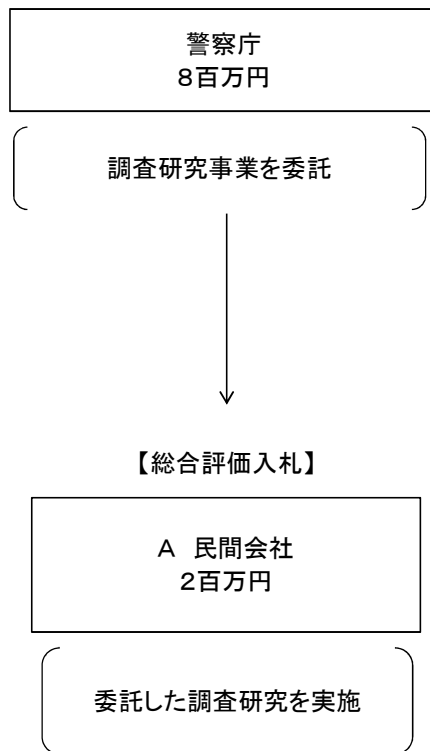
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	国の公安の維持							
	施策	重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対応							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度
		主要警備対象勢力(注1)に係る犯罪の検挙件数 (注1) 警備犯罪を行い、又は行うおそれのある主要な対象 ※実績値については年間実績であり、目標値については、過去5年の実績平均としている。	実績値	件	1,611	1,602	1,508	-	-
			目標値	件	1,722	1,693	1,672	-	-
		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度
		主要警備対象勢力に係る犯罪の検挙人員 ※実績値については年間実績であり、目標値については、過去5年の実績平均としている。	実績値	人	1,682	1,669	1,556	-	-
			目標値	人	1,872	1,814	1,762	-	-
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	治安警備及び警衛・警護の実施状況(事例)	28		国内外の情勢に応じた警備措置を行い、警備対象の安全を確保する。 施策の進捗状況(実績)					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
海外における大規模スポーツイベントにおける警備手法の調査研究を行うことで、東京大会に向け、安全かつ円滑な開催に万全を期すことができる。									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	東京大会の安全かつ円滑な開催に万全を期すことは、開催国の重大な責務であり、そのために必要な警察諸対策の効率的かつ効果的な準備に資する本調査研究は、国民や社会のニーズを的確に反映したものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本調査研究等を踏まえて行う東京大会の警備諸対策は開催国としての治安責任を果たすために必要となるものであり、地方自治体や民間等に委ねるのは適当ではない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	東京大会の安全かつ円滑な開催に万全を期すことは、開催国の重大な責務であるところ、本調査研究は東京大会に向けた警察諸対策の効率的かつ効果的な準備に資するものであり、必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約は、一般競争入札を基本としており、支出先の選定は適当なものである。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	契約は、一般競争入札を基本としており、受益者との負担関係は適当なものである。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	契約は、一般競争入札を基本としており、単位当たりコストの水準は適当なものである。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	東京大会に向け、警察として効率的かつ効果的な準備を進めるために真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	契約は、一般競争入札(総合評価落札方式)で行っているため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	海外の大規模スポーツイベントを調査研究し、報告されており、目標を達成している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりに活動実績を上げている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	報告書については、十分に活用している。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	関連事業なし	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	東京大会の安全かつ円滑な開催に万全を期すことは、緊急に取り組むべき極めて重要な課題であることから、本調査は国として実施すべき優先度の高い事業である。				
	改善の方向性	透明性の確保のため一般競争入札(総合評価落札方式)により調達を行った。				
外部有識者の所見						
今後、同様の事業を実施するに当たっても、引き続き競争性を確保するなど予算額の削減に努めること。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	今後、同様の事業を実施する場合には、競争性・透明性の向上を図り、コストの削減に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	特になし。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-0003	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

